



気象庁は箱根山（大涌谷周辺）の噴火警戒レベルを2から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

※ 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。

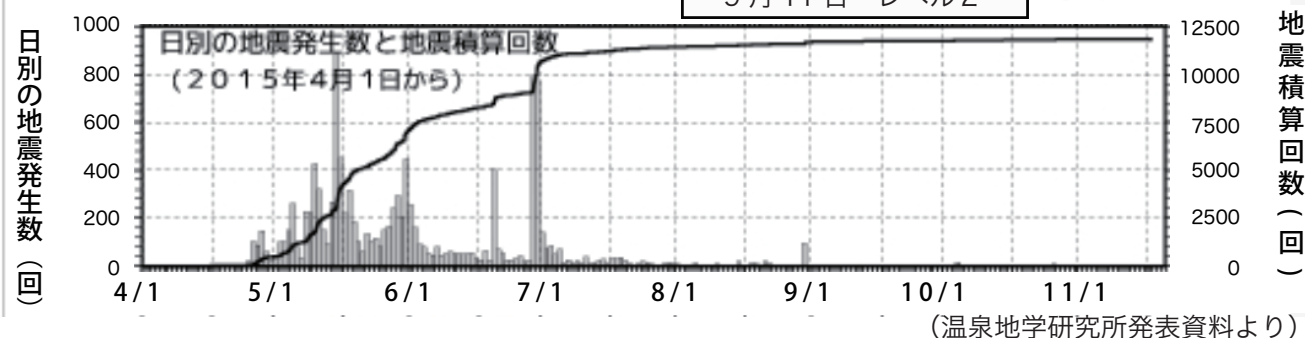
噴火の可能性は低くなりました。

地震活動は低下傾向が続いており、4月下旬の地震活動活発化以前の状態となっています。また、火山活動に関連する地殻変動はみられていません。以上のことから、大涌谷周辺の想定火口域において、噴火の可能性は低くなりました。（気象庁 火山活動の状況より）。

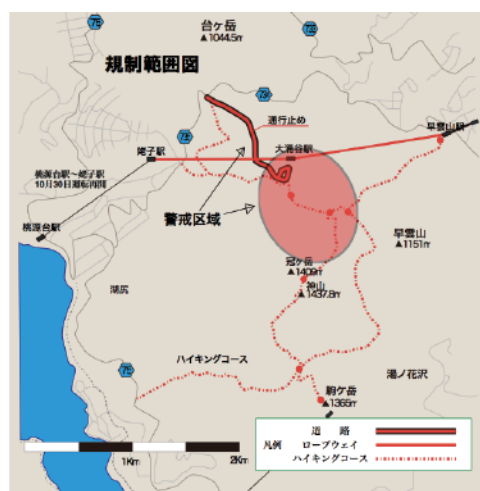
日別の地震発生数と地震積算回数
(2015年4月1日～11月19日) (速報値)

噴火警戒レベル

5月6日	レベル2
6月30日	レベル3
9月11日	レベル2



大涌谷への立ち入り規制を継続しています。



規制エリアマップ



11月11日の大涌谷の様子

大涌谷では火山ガスの噴出が続いています。そのため、安全性が確保されるまでは、大涌谷の立ち入り規制を継続します。

11月20日より噴火警戒レベルが1に引き下げられました。